

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称： 1 工学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育の水準 5. 進路・就職の状況〔判断理由〕</p> <p>【原文】 「「関係者からの評価」については、<u>アンケート集計数は明確化されていないもの</u>、卒業生の在籍する組織の上司に対するアンケートにおいて、ものづくりを実践できる能力、自ら目標を設定できる能力において高く評価されている・・・」</p> <p>【申立内容】 下線部分を削除願いたい。</p> <p>【修正文案】 「「関係者からの評価」については、卒業生の在籍する組織の上司に対するアンケートにおいて、ものづくりを実践できる能力、自ら目標を設定できる能力において高く評価されている・・・」</p> <p>【理由】 該当のアンケート結果の資料は、工学部1-35頁の資料1-5-6、資料1-5-7であるが、同アンケートの結果は、添付資料に全文を掲載している。その冒頭ページの「調査の概要」では、実施方法を明らかにしており、また、「卒業生就職先企業向けアンケート（依頼数：55社）回答率49パーセント（回答企業数：27社）」とあり、個々のグラフの集計数は、明らかでなくとも、集計数と比率を掛け合わせれば、個々の項目も明らかであること。</p>	<p>【対応】 意見のとおりとする。</p>

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称： 2 工学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育の水準 4. 学業の成果〔判断理由〕</p> <p>【原文】 「「学業の成果に関する学生の評価」については、<u>アンケート回収率は不明なもの</u>の、生活実態調査において、専門分野への関心度に関して、肯定的なものが70%以上、満足度に関しては、肯定的なものが45%程度となっており、・・・」</p> <p>【申立内容】 下線部分を削除願いたい。</p> <p>【修正文案】 「「学業の成果に関する学生の評価」については、生活実態調査において、専門分野への関心度に関して、肯定的なものが70%以上、満足度に関しては、肯定的なものが45%程度となっており、・・・」</p> <p>【理由】 「評価実施要項」では、訪問調査について、「書面調査では確認できなかった事項等の調査を目的として実施します」としており、「根拠資料・データの補完的収集」もその内容に含めている。 アンケート回収率が不明であれば、訪問調査時に確認できたと思われる。 なお、資料は整備されており、当該アンケート回収率は、 第一部 59.1% (4010人中2368人) 第二部 47.2% (884人中418人) 大学院 72.0% (1405人中1011人) となっている。</p>	<p>【対応】 意見のとおりとする。</p> <p>【理由】 当該大学の工学部でも同様のアンケートを基にした分析を行っているが、回収率について触れておらず、平仄を合わせる上でも、当該事項が判定に影響を与えるものではないという点からも、当該事項は削除することとする。 なお、評価の手続きについての意見は、申立の対象としない。</p>